

## 静岡県大井川上流二軒小屋のナガゴミムシ類

笠原 須磨生

KASAHARA, S.: Some Pterostichine Carabids from Nikengoya  
on the Akaishi Mountains in Shizuoka, Central Japan

1988年の夏、静岡県大井川上流の静岡市田代二軒小屋(標高1,400m)に数日間滞在した。その折に採集したナガゴミムシ類を報告する。当地は、かつて天牛類の豊産地として著名であったが、25年ぶりに再訪してみると、開発による変貌がいちじるしく、天牛はまったくの不作であった。しかし、山容が雄大急峻で、渓谷が深いことに変わりはなく、ゴミムシ類の採集にあたっては好適地を見つけるのに多少苦労した。滞在中はおおむね雨天であったが、山小屋のストーブに薪をくべ、楽しい日々を過ごした。お世話になった石川 均、多比良嘉晃の両氏に、謝意を添えてこの小篇を呈したい。

*Pterostichus karasawai* TANAKA ミヤマクロナガゴミムシ

2 ♀♀, 26~27-VII, 筆者採集; 1 ♀, 27~28-VII, 多比良嘉晃採集。

*Pterostichus spiculifer ishidai* TANAKA ハラトゲナガゴミムシ赤石亜種

1 ♂, 25-VII; 1 ♂, 25~26-VII, 筆者採集。

*Pterostichus latistylis* TANAKA タナカナガゴミムシ

10 ♂♂, 4 ♀♀, 24-VII; 3 ♂♂, 25-VII; 2 ♂♂, 1 ♀, 25~26-VII, 筆者採集。

二軒小屋の各個体は、上翅の第3間室に6~7、第5間室にも3~5個の強い凹みをもつ孔点があり、本種としては例外的に特異な外観をもつ個体群である。陰茎は基準型のものよりも細いが、右側片は幅広く、先端部が切断状で、基産地のものに似ている。

*Pterostichus brunneipennis akaishicus* TANAKA ハネアカナガゴミムシ赤石亜種

3 ♂♂, 2 ♀♀, 24-VII; 1 ♂, 6 ♀♀, 25~26-VII; 3 ♀♀, 26~27-VII, 筆者採集。

すべて上翅が黒色の本亜種の基準型。高標高地の個体より大型である。

*Pterostichus asymmetricus* BATES ミズギワナガゴミムシ

1 ♀, 24-VII, 筆者採集; 5 ♂♂, 13 ♀♀, 24~25-VII, 石川 均採集; 18 ♂♂, 24 ♀♀, 25~26-VII; 14 ♂♂, 15 ♀♀, 26~27-VII, 筆者採集; 8 ♂♂, 2 ♀♀, 27~28-VII, 多比良嘉晃採集。

前胸と上翅が幅広く、強壯で、肢が暗赤褐色の、赤石山脈に特有の型である。眼の後方はふくらみ、雄の腹部末端腹節の突起は左(内側)先端角が強く突き出す。

*Pterostichus masumotoi* TANAKA, MORITA et SUGA マスモトナガゴミムシ

5 ♂♂, 11 ♀♀, 24~25-VII, 石川 均採集; 3 ♂♂, 13 ♀♀, 25~26-VII; 5 ♂♂, 17 ♀♀, 26~27-VII, 筆者採集; 1 ♂, 2 ♀♀, 27~28-VII, 多比良嘉晃採集。

富士山を基産地とする大型種で、上翅は雌雄ともに光沢を欠く。赤石山地にも広く分布し、山梨県青木鉱泉、長野県三伏峠、静岡県安倍峠から記録されている。二軒小屋の個体は、基産地のもの比べると上翅がやや短かい。